

# 業新聞

n Metal Bulletin

## ロシアに鋼管加工拠点

ニッコー

パートナー  
企業と共同  
建機向け需要捕捉

伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 野健一郎社長は7日、100%子会社の大手鋼管流通ニッコーが主体となり、ロシア・トヴェリ州にニッコーの

子会社「ニッコーTR」を設立し、「ユーラシア」を開始し2013年4月を予定しており、建設機械向け構造用鋼管や

高圧ゴムホース、高圧配管の加工・販売を手掛ける。ニッコーTRはユーラシアの出資比率は、ニッコーが50%、伊藤

忠丸紅鉄鋼が25%、東海ゴム工業20%、本原製作所5%。伊藤忠丸紅鉄鋼の事業会社が、海外事業に直接かつ主体的に参加するケース

および、同社がロシアに製品の加工拠点を立ち上げるのは今回が初となる。

ロシアの建設機械需要は、インフラ整備やエネルギー・資源開発向けに、今後も増加が見込まれる。このよう

な中で、ニッコーTRはユーラシアは中型油圧ショベルの生産に対応する。現地ではニッコーが日本国内で提供

ベルの在庫・鋼管加工機能やサービスを、パートナー企業とともに展開していく。

パートナー企業である東海ゴム工業は防振ゴムやホースなどの自動車部品、ET関連部品、高圧ホースなど各種産業資材の製造・販売を手掛けている。木原製作所は自動車や建設機械分野向けに、パイプを加工・販売している。

2012.12.10

産業新聞